

平成22年第4回(9月)瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に続いて、教育委員会から3件の行政報告を行います。

学力・学習状況調査について

平成22年度の「全国学力・学習状況調査」の結果及び市独自の「学力調査」の結果について概要をお知らせします。

今年度の「全国学力・学習状況調査」は、ご存じのとおり抽出調査として実施されました。本市でも数校の小学校・中学校が抽出校となり、それ以外の学校は希望実施校として同じ問題を使って実施しました。7月30日に抽出校の結果が教育委員会と各学校に届きましたが、希望実施校の結果と合わせた全体の傾向については8月末に届いたばかりであり、現在その分析作業を進めているところです。

抽出校の結果ですが、平均正答率については、小学校では国語A・B、算数A・Bのすべてで岡山県平均を上回り、算数Aを除いて全国平均も上回っています。また、中学校では、国語A・B、数学A・Bのうち、国語A・Bは岡山県平均を上回っていますが、全国平均を上回ったのが国語Bのみとなっています。

市独自の「学力調査」の結果ですが、到達度については、小学校4年生・5年生、中学校1年生・2年生の国語と算数・数学すべてで目標値を上回っています。

全体の傾向としては、学校での学習指導についてさまざまな工夫がみられるようになってきましたが、家庭学習の習慣化に課題があります。また、規則正しい生活が身につけている児童生徒と、そうでない児童生徒との差が大きくなりつつあり、学習意欲や学習態度にも影響しています。基礎的な学習内容については定着が図られていますが、応用的・発展的思考を苦手とする児童生徒がやや多く、基礎的問題に比べて無回答率も高くなっています。

今後は、各学校で「学力・学習状況改善プラン」を作成して授業改善を図るとともに、一人一人の児童生徒に応じた指導の工夫を図っていきます。また、市全体の傾向については、市のホームページでお知らせする予定です。

中国地区中学校体育大会への出場について

7月に行われました岡山県中学校夏季総合体育大会で県代表となり、中国大会に出場した部活動について報告いたします。

今回、県代表となったのは、邑久中学校の剣道部男子個人1名及び陸上競技部の男子1名です。剣道部の男子1名は、8月3日に広島市で行われた中国大会で個人戦に出場し、1回戦は快勝しましたが2回戦で敗れました。また、陸上競技部の男子1名は、8月8日に岡山市で行われた中国大会で、100メ

ートル走 1 年生の部に出場し健闘しました。

瀬戸内市立美術館の開館に向けて

瀬戸内市立美術館については、6 月から館長が就任し、4 名の職員体制が整いました。7 月には第 1 回の瀬戸内市立美術館協議会を開催し、運営の基本方針や今年度の事業計画について委員の皆様からご意見を賜りました。これを受けて、いよいよ 10 月 1 日の開館に向け急ピッチで準備を進めております。10 月 1 日には、多くの貴重な作品を寄贈して下さった佐竹徳画伯のご遺族をはじめとして、美術館建設にご尽力いただいた方々をお招きして開館式典を挙げる予定としております。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成 22 年 9 月 1 日

瀬戸内市教育委員会

教育長 山崎 宗則